

松山清造

まつしやま
きよぞう

農具發明家。明治八年十一月二十一日長野縣生れ、

昭和二十八年十一月二日歿（六五歳）（一九三三）。

ながの
けんりつ 小縣郡の農事改良に従事

し、のち小槓おのきの基本構造となる双用槓を發明。明治二十四年、特許取得、製造所を興じた。

又獻、岸田義邦著『松山清造翁評傳』（昭和二十九年八月）二十頁新農林社）等。